

学力向上推進だより

★川原っ子の幸せのために…★

石垣市立川原小学校
第6号 2019年11月11日
学力向上推進担当

めざそう！「忘れ物のない生活」

子どもは「遊び」「おやつ」など自分の興味のあるものはわすれません。どうしてなのでしょう？
子どもの生活習慣は「忘れ物」に、はっきりあらわれます。細かいことに気を配ることをいやがり
わかっていても持たずに来るとすることがないようにしなければなりません。

忘れ物は、学習活動に支障を与えるだけでなく、だらしない無責任な性格を育てる原因にもなりま
す。規則正しい生活、生活習慣を身につけさせたいですね。

忘れ物をする子の特徴



よく言われていることは、「集中力が欠けている」ため、気が散りやすく、今すべきことができなくなっ
てしまう子、ぼんやりして人の話を聞きのがす子。また、「整理整頓が苦手」で、自分の持ち物をどこに置
いてあるのか把握できていない子だそうです。本人自身の問題の他に、生活習慣も大きく関わってくるそ
うです。つまり、1日の過ごし方（ルーティーン）が、しっかりしているかということです。

「忘れ物は、本人が一番困るから、そのうち直る」という考え方では、改善されないそうです。むしろ、
忘れ物に慣れ、慢性化するそうです。そこで、困っている子を支えてあげる手立てを考えてみましょう。

忘れ物をなくす手立て



生活習慣の見直し

1. 学校から帰ってきたら…？

宿題→準備(チェック)

(声かけ)

2. カバンの中の整理整頓

カバンの中の教書やノートを出さずに、入れっぱなし？

カバンの中の
整理整頓

- ☆カバンの中身を全部出す！
- ☆時間割に合わせ教科書をならべる！
- ☆提出物は一番上に！



3. 朝はゆといをもって登校 あわてると忘れ物が増えます！

☆子どもの生活習慣（ルーティーン）は、親のサポートなしでは成り立ちません。
しっかり生活習慣が身につくまでサポートをお願いします！

